

大阪湾内で清掃船により捕獲された淡水カメ類

谷口真理・亀崎直樹

654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

The freshwater turtles captured by cleaning ship on Osaka bay.

By Mari TANIGUCHI and Naoki KAMEZAKI

Kobe Suma Aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, Hyogo, 654-0049, Japan.

須磨海浜水族園では、外来種であるミシシッピアカミミガメ(以下アカミミガメ)の引き取りを、本種の生息状況の把握や外来種問題の啓発などを目的に実施している。引き取りの対象は、野外で捕獲された個体に限るものの、持込者は、市民、警察など多岐に渡る。今回、神戸港湾事務所(国土交通省近畿地方整備局)より海上で捕獲されたという淡水カメ類が持ち込まれたのでここに報告する。持ち込まれた淡水カメ類は、アカミミガメ16個体(雄5個体, 雌11個体), クサガメ13個体(雄4個体, 雌9個体)の計29個体で、2016年7月6日に当園に持ち込まれた。

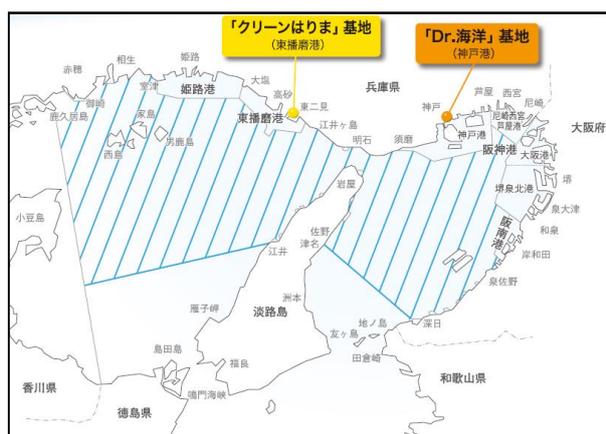


図1. 海面清掃兼油回収船が就航する海域(斜線部分)

神戸港湾事務所では、海洋環境の保全と改善等を目的に大阪湾及び播磨灘の海面に浮遊しているゴミや油の回収等を海面清掃兼油回収船の就航により実施している。対象海域は図1の通りで、持ち込まれた個体は、2隻の海面清掃兼油回収船であるDr.海洋(全長33 m, 総トン数196 トン)またはクリーンはりま(全長34 m, 総トン数197 トン)により捕獲されたものである。捕獲後は、事務所の敷地内に設けられた飼育場で一時収容されており、これら個体の具体的な捕獲日等は不明だが、Dr.海洋は、2007年(平成19年)4月より、はりまクリーンは2013年(平成25年)4月より就航していることから、ここ数年の間に捕獲されたものと思われる。

アカミミガメ及びクサガメは、兵庫県の瀬戸内沿岸部に広く生息する(谷口他, 2015)。またこれらカメは川や池などの水辺で生息するとされるが、海岸で発見される個体が各地で多数報告されており、大雨などにより川から海へ流出し、海岸に再び打ち上がったものと推測されている(山本・亀崎, 2011; 竹田, 2005)。今回、持ち込まれた29個体も同様に海に流出したところを清掃船に捕獲されたものと推察される。

引用文献

- 竹田正義. 2005. 丹後半島周辺において確認されたヌマガメ類の漂着例. 兵庫陸生生物56・57: 231-235
 谷口真理・上野真太郎・三根佳奈子・亀崎直樹. 2015. 西日本のため池における淡水性カメ類の分布と密度. 爬虫両生類学会報 2015(2): 144-157.
 山本明男・亀崎直樹. 2011. 海から上がったミシシッピアカミミガメ. 亀楽 2: 7.